

患者ID : 0

患者氏名	0	生年月日	明治33年1月0日	年齢	0	性別	0
診療科	0	区分	☐ 階病棟 ☐ 外来	申請医師名			

診断名	Stage	Performance Status
-----	-------	--------------------

告知内容	
------	--

治療方法	プロトコール名	ビロイ+XELOX	告知Grade	
------	---------	-----------	---------	--

身長	0	cm	体重	0	kg	体表面積	0	m ²
血清クレアチニン		ml/dl	Cockcroft-Gault			推算Ccr		性別無し ml/min
※女性は0.85を掛けています								

◎CLDN18.2陽性かつHER2陰性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌（食道胃接合部腺癌）			
ビロイ	初回	0 mg	（標準量800mg/m ² ） day1
	2回目以降	0 mg	（標準量600mg/m ² ） day1
ゼローダ	2400 mg/日（1日2回 1回 4錠） Day1夕食後～Day15朝食後まで		
オキサリプラチン	0 mg	（標準量130mg/m ² ） day1	
インターバル3週			

Day1

① 生食100ml メイン用本体
 〔処置薬〕 オランザピンOD2.5mg 2錠 内服

② ホラミン注5mg + 生食50ml 200ml/hr

③ ハロ/セトロン点滴静注バッグ0.75mg/50ml+アロカリス235mg 1V+デキサート6.6mg1.5V [9.9mg] 120ml/hr

④ 生食50ml プライミング・ルーフッシュ用（ビロイ）

⑤ 初回	ビロイ	0 mg	+	生食	0 ml	[総点滴量]	0 ml
2回目以降	ビロイ	0 mg	+	生食	0 ml	[総点滴量]	0 ml

※0.2μmフィルター使用 ※流速は別途速度管理表に従う

⑥ 5%糖液100ml メイン用本体

⑦ オキサリプラチン 0 mg + 5%糖液500ml + デキサート1.65mg 1A 250ml/hr

内服薬

ゼローダ300mg 8錠/日 1日2回 朝・夕食後	14日間内服し1週間休薬する
デカドロン4mg 1回1錠 1日2回 朝・昼食後	3日分（2～4日目に内服）
オランザピンOD錠2.5mg 1回2錠 1日1回 夕食後	3日分（2～4日目に内服）

投与開始日 年 月 日

併用薬の 確認	併用禁忌：他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍薬、フッ化ピリミジン系抗真菌薬 併用注意：フェニトインの血中濃度上昇(中毒症状の発現)、ワルファリンの作用増強
------------	---

B型肝炎check	HBs抗原 () $\Rightarrow$ HBc抗体 (), HBs抗体 () $\Rightarrow$ HBV核酸定量 1.3Log.IU/m ()
-----------	--

予測される副作用	重大な副作用;過敏症16.9%、Infusion reaction44.3%、重度の悪心・嘔吐15.9% その他;骨髄抑制、下痢、疲労、無力症、肝障害、高血圧、低Alb血症、末梢神経障害、HFS等(抜粋) 国際共同第Ⅲ相試験(GLOW試験) [重篤な副作用]嘔吐4.7%、悪心3.5%、食欲減退3.1%、血小板減少2.4%、上部消化管出血1.6% [死亡に至った副作用]脳出血、血小板減少、敗血症、失神、上部消化管出血
----------	--

備考	・GLOW試験では、オキサリプラチンは8回まで使用。 ・ビロイ; 室温で希釈後6時間以内に投与完了すること。保存の場合は2～8℃で保存し、24時間以内に使用。 ・ビロイ; 0.2 μ mフィルター使用 ・オランザピンは糖尿病患者に禁忌です
----	---

採否	☐ 承認	☐ 再検討	☐ 不許可
----	-----------------------------	------------------------------	------------------------------

担当委員署名

許可決定日時 年 月 日 有効期限 年 月 日